

実務成績証明書（教科についての教育成績に関する証明を含む。）						
勤務校				氏名	(旧姓： ) (通称名： )	
休職期間	年 月 日から		年 月 日まで			
	年 月 日から		年 月 日まで			
勤務の内容	年度	期 間	職 名	教 科	週授業時数	備 考
		自 . . . . . 至 . . . . .				
		自 . . . . . 至 . . . . .				
		自 . . . . . 至 . . . . .				
		自 . . . . . 至 . . . . .				
		自 . . . . . 至 . . . . .				
		自 . . . . . 至 . . . . .				
		自 . . . . . 至 . . . . .				
合 計	年 月 (休職期間を除算した勤務期間の実年月数)					
教科に関する 所 見						
勤 務 成 績						
上記のとおり良好な成績で勤務したことを副申する。						
年 月 日						
所 属 長 <span style="float: right;">印</span>						
上記のとおり証明する。						
年 月 日						
実務証明責任者 <span style="float: right;">印</span>						

注 1 休職期間には、育児休業期間等を含めること。

2 小学校の教諭等で教科を担当しない場合は、教科欄及び教科に関する所見欄は空欄とする。

3 特別支援学校に勤務した場合にあっては、備考欄に「担当学部」及び「担任した特別支援学校教育領域」を記入すること。  
また、教科欄には主に担当した教科を記入すること。（例：「国語」、「自立活動」、合わせた指導の場合は「合科」）

4 実務証明責任者は、大学附置の国立学校（学校教育法第2条第2項に規定する国立学校をいう。）又は公立学校にあってはその大学の学長、大学附置の学校以外の公立学校にあってはその学校を所管する教育委員会、私立学校にあっては、学校法人の理事長とすること。

5 提出は親展書類とすること。

6 氏名欄の（旧姓）、（通称名）は申請者の求めに応じて、所属長が確認できる場合に記入すること。